

教科	科目	学年	単位数	使用教科書	主な使用補助教材
地理歴史	地理探究	3	2	新詳地理探究(帝国書院) 新詳高等地図(帝国書院)	新詳地理資料COMPLETE（帝国書院） データブック オブ・ザ・ワールド（二宮書店）

1 科目の目標と評価の観点

目標	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。				
評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度	
	知識：地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解する。 技能：地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。		地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深める。	

2 学習計画と観点別評価基準

学習内容	学期	学習のねらい	観点別評価基準		
			知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
地形	1学期（28）	地球表面には、地球規模の大地形や、河川が形成した小地形などのさまざまな地形がみられる。それぞれの地形には、どのような特徴や成因があり、人間活動とどのように関わっているのだろうか。	地形に関わる諸事象の規則性、傾向性や、人間による利用などについて理解することができる。 地図やGISなどを用いて、地形の形成に関する様々な情報を適切に読み取り、まとめることができる。	地形の分布や成因などに注目して、「平野の地形」などの主題を基に、「平野の地形はどのように利用されてきたのだろうか」などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。	地形とその利用について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
気候		気温や降水量、風などの気候要素は地域によって異なるため、地球上の生態系はさまざまである。気候の違いは、どのような要因で生まれるのだろうか。また、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	世界各地の自然と生活に関わる諸事象の規則性、傾向性や、気候区分の方法などについて理解することができる。 統計やGISなどを用いて、気候に関するグラフを適切かつ効果的に読み取り、まとめることができる。	気候の特徴と人々の暮らしとの関係性に注目して、「各気候帯での人々の暮らし」などの主題を基に、「厳しい自然環境の中で人々はどのように工夫して暮らしているのだろうか」などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。	世界各地の自然と生活について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
日本の自然環境		南北に細長い日本列島には、山地や平野、亜寒帯から亜熱帯にわたる気候など、多様な自然環境がみられる。日本の自然環境にはどのような特徴があり、その特徴は自然災害とどのように関係しているのだろうか。	日本の自然環境に関わる諸事象の規則性、傾向性や、自然災害などについて理解することができる。 地図やGISなどを用いて、防災に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめることができる。	日本の自然環境と自然災害の関係などに注目して、「自然災害と防災」などの主題を基に、「自然災害にどのように対処すればよいだろうか」などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。	日本の自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
地球環境問題		地球上では、さまざまな環境問題が発生している。地球環境問題を解決して、地球と人類が共存できる持続可能な社会をつくり出すためには、どのような考え方で、どのような取り組みをすればよいのだろうか。	地球環境問題に関わる諸事象の規則性、傾向性や、持続可能な開発のあり方などについて理解することができる。 地図やGISなどを用いて、地球環境問題に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめることができる。	気候や環境の変化などに注目して、「気候変動の影響」などの主題を基に、「地球温暖化は生態系や人間生活にどのような影響を与えているのだろうか」などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。	地球環境問題について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
農林水産業		農林水産業は、自然条件の影響を受けるとともに、社会条件の変化に伴って変容してきた。農林水産業の分布や発達には、どのような傾向や規則性がみられるのだろうか。	農林水産業に関わる諸事象の規則性、傾向性や、食料問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解することができる。 地図や統計などを用いて、農林水産業に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめることができる。	農林水産業の条件や変化などに注目して、「食料問題」などの主題を基に、「世界の栄養不足人口の分布に地域的な偏りがあるのはなぜだろうか」などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。	農林水産業の変化について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
エネルギー・鉱産資源		世界のエネルギー・鉱産資源の分布には、大きな偏りがある。エネルギー・鉱産資源は、どのようにして生活や産業に利用され、生産や消費の不均衡をなくすためにどのようなことが行われているのだろうか。	資源・エネルギーに関わる諸事象の規則性、傾向性や、資源・エネルギー問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解することができる。 地図や統計などを用いて、資源・エネルギーに関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめることができる。	資源産地の分布や消費地との結びつきなどに注目して、「エネルギー資源の課題」などの主題を基に、「資源の産出と消費にはどのような地域的な特徴と地域的結びつきがみられるか」などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。	資源・エネルギーの生産と消費について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

学習内容	学期	学習のねらい	観点別評価基準		
			知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
工業		工業は、さまざまな製品を生み出し、人々の生活や産業の発展を支えてきた。世界の工業はどのように発展し、現在はどのような工業分野や地域が中心となり、どのように変わろうとしているのだろうか。	工業に関わる諸事象の規則性、傾向性や、工業生産のグローバル化に伴う諸課題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解することができる。地図や統計などを用いて、工業に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめることができる。	工業立地や変化などに注目して、「工業生産のグローバル化」などの主題を基に、「知識集約型産業は今後どのように展開していくのだろうか」などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。	工業の発展について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
第3次産業		経済が発展すると、物やサービスへの需要が高まるため、第3次産業が主力の産業となる。第3次産業の現状はどのようになっているのだろうか。	第3次産業に関わる諸事象の規則性、傾向性や、サービス経済化の現状や要因、問題の解決に向けた取組などについて理解することができる。地図や統計などを用いて、第3次産業に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめることができる。	産業構造の変化に注目して、「サービス経済化」などの主題を基に、「サービス業の需要の拡大と発展は社会にどのような影響をもたらすのだろうか」などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。	産業構造の変化について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
定期考査	2				
交通通信	2学期（38）	交通と通信の発達によって、社会や経済は大きく変化した。なぜ、交通網や通信網の発達には、傾向や地域性、地域間格差が現れているのだろうか。	交通・通信に関わる諸事象の空間的な規則性、傾向性や、交通・通信に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解することができる。地図やGISなどを用いて、交通・通信に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめることができる。	交通・通信手段の発達や利用に関わる課題などに着目して、「交通と通信の課題」などの主題を基に、「通信手段の発達はどのような生活の変化や課題を生じさせているのだろうか」などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。	交通と通信の発達について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
人口		世界全体の人口は現在も増加し続けているが、国や地域によってはさまざまな理由で減少に転じている場合もある。世界各地の人口の分布や年齢別構成、移動には、どのような特徴がみられるのだろうか。	人口に関わる諸事象の空間的な規則性、傾向性や、人口問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解することができる。地図や統計などを用いて、人口に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめることができる。	人口の推移、分布、移動などに注目して、「少子高齢化」などの主題を基に、「世界の人口分布や各国の年齢別人口割合は今後どのように変化するのだろうか」などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。	世界及び日本の人口問題について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
村落と都市		人々はどのような場所に居住し、村落や都市を発達させてきたのだろうか。その立地や形態、変容のしかたにみられる傾向や規則性、また、国や地域によって異なる地域性についてとらえよう	村落・都市に関わる諸事象の空間的な規則性、傾向性や、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解することができる。地図やGISなどを用いて、村落・都市に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめることができる。	集落の機能や形態などに注目して、「世界の居住問題」などの主題を基に、「都市の居住問題の背景には何があるのだろうか」などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。	世界の都市問題について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
衣食住		伝統的な衣食住の生活文化は、その土地の自然環境や社会環境などの地域的特色を反映して形成されてきた。これらの生活文化にはどのような傾向があり、世界的な画一化の動きとどのように関わっているのだろうか。	生活文化に関わる諸事象の空間的な規則性、傾向性や、民族問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解することができる。地図やGISなどを用いて、生活文化と言語・宗教に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめることができる。	世界の衣食住の地域性などに着目して、「生活文化の多様性」などの主題を基に、「世界各地で主食が異なるのはなぜだろうか」などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。	生活文化について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
領土問題		国家の領域は、山脈や河川、経線や緯線などさまざまな境界線で区分されている。領域が定められたり、その領域が変更されたり、国家が新たに誕生したりすることで、どのような問題が起こっているのだろうか。	国家とその領域に関わる諸事象の空間的な規則性、傾向性や、領土問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解することができる。地図やGISなどを用いて、国家とその領域に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめることができる。	国家の特徴や国家の結びつきなどに着目して、「世界の民族・領土問題」などの主題を基に、「民族紛争や領土問題の背景には何があるのだろうか」などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。	民族・領土問題について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
中国		日本と地理的な距離が近い韓国は、急速な経済成長を遂げている。この節では、自然環境や歴史と生活文化、産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して考察しよう。	中国の歴史的背景や経済、鉱工業、人口、民族、自然、農牧業について、経済成長と関連づけながらその特色や課題を理解し、知識として身につけることができる。	中国の歴史的背景や経済、鉱工業、人口、民族、自然、農牧業について、経済成長と関連づけながら考察することができる。地図や統計を活用し、さまざまな課題や今後の日本との関係について多面的・多角的に思考したことを適切に表現することができる。	中国の経済成長に着目し、様々な分野における日本をはじめ世界への影響力について関心を高め、それを意欲的に追究しようとしている。 中国の人口や民族に関する課題意識を高め、背景と現状、対策などについて意欲的に追究している。

学習内容	学期	学習のねらい	観点別評価基準		
			知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
欧州		ヨーロッパは、二度の世界大戦を機にEUを中心とした政治・経済の統合を進めている。この節では、民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して考察しよう。	ヨーロッパの歴史的背景や民族、自然、農牧業、鉱工業、貿易と交通、地域連携について、その特色や課題を理解し、知識として身につけることができる。	ヨーロッパの歴史的背景や民族、自然、農牧業、鉱工業、貿易と交通、地域連携について、世界各国との関係と関連づけながら考察することができる。地図や統計を活用し、さまざまな課題や今後の日本との関係について多面的・多角的に思考したことを適切に表現することができる。	ヨーロッパの自然、農牧業、鉱工業、民族について、日本との関係を踏まえつつ関心を高め、それを意欲的に追究しようとしている。ヨーロッパの多くの国が加盟するEUへの課題意識を高め、その背景と現状、対策について意欲的に追究しようとしている。
アングロアメリカ		アメリカ合衆国は移民国家としての多様性をもち、それがこの国の原動力にもなってきた。この節では、地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理しつつ、多民族社会や移民に関する地球的課題を考察しよう。	アングロアメリカの歴史的背景や民族・文化、自然、産業、都市・居住問題、世界との結びつきについて、その特色や課題を理解し、知識として身につけることができる。	アングロアメリカの歴史的背景や民族・文化、自然、産業、都市・居住問題、世界との結びつきについて、日本をはじめ世界各国との関係と関連づけながら考察することができる。地図や統計を活用し、さまざまな課題や今後の日本との関係について多面的・多角的に思考したことを適切に表現することができる。	アングロアメリカの自然、産業、民族・文化について、日本との関係を踏まえつつ関心を高め、それを意欲的に追究しようとしている。アメリカの都市・居住問題や国際関係への課題意識を高め、その背景と現状、対策について意欲的に追究しようとしている。
定期考査	2				
	3 学期	大学入試準備			